

平成25年3月4日

平成25年度 事業計画書

(2013年4月1日～2014年3月31日)

公益財団法人 アサヒグループ芸術文化財団

平成25年度事業計画書

当財団は、多様な創造力の発露である芸術文化活動を総合的に支援振興するために、芸術NPO等の芸術機関への助成を含めて、美術・音楽・舞台芸術などの芸術分野での有効適切な助成活動を行うとともに、芸術家等の国際交流の促進に貢献し、あわせて芸術資産を生かしながら芸術創造の支援をするため、アサヒビール大山崎山荘美術館の運営等の文化事業を行っている。

昨年4月、新公益財団法人として体制も新たにスタートを切った。まず、助成事業については、今般、助成対象を決定する選考委員についても9名を新任した。美術部門4名、音楽部門3名、舞台部門2名、それぞれ各分野のエキスパートの方々に就任いただいた。助成対象者を絞り込み、1件当たりの助成額を増やすこと、また、授与式の開催、助成を決定した選考委員による視察、評価を実施し、助成の効果を一層高める仕組みを導入した。

こうした取り組みを進めることによって、助成先の満足度を高め、事業内容の評価を一層高め、わが国の芸術文化の発展に寄与するという財団の使命を達成していきたいと考えている。

また、地域文化の振興に一層寄与するため、アサヒビール社と連携して全国のNPOと共同で開催している、「アサヒ・アートフェスティバル」は昨年11回目を終了したが、こうした地域のアートNPO支援の活動が評価され、企業メセナ協議会から「メセナ大賞」を受賞した。併せて、活動10年の記録として記念本も出版した。本年も、12回目を実施する。

平成21年度から実施している「すみだ川アートプロジェクト」も継続実施する。

アサヒビール大山崎山荘美術館においては、多目的展示ホール「夢の箱」が増設されたことを受け、これまで以上にお客様満足度を一層高めるための魅力的な展示を実施するとともに、地域との連携を強化し、地域に開かれた美術館を目指して計画を立てた。

平成 25 年度は、下記の事業を実施したい。

1 . 芸術文化活動への助成

- 1) 美術・音楽・舞台芸術活動への助成
- 2) 芸術文化活動団体（NPO、文化施設、文化機関等）への助成
- 3) 芸術家等の国際交流活動への助成

2 . アサヒビール大山崎山荘美術館の運営

所蔵品や建物、自然環境等の資源を活用しながら、新たな文化価値の発信をめざした企画展示を通年で開催し、あわせて地域と連携して地域社会へ寄与する運営に努める。また、施設面でのバリアフリー化等の施設整備が完成したことにともない、新施設に対応した運営体制により、展覧会にとどまらない多様な企画の拡充を図る。

3 . アサヒビール社と連携した事業の運営

- 1) アサヒ・アートフェスティバル 2013
- 2) すみだ川アートプロジェクト 2013

これらの分野を合わせた助成金額の総計は 50,500 千円を予定している。

財団活動の効果的な運営のため、選考委員を中心とした助成活動の調査・検証を実施する。助成対象者と選考委員の交流の場ともなる授与式を新たに開催し、助成対象者の意欲と意識の高揚を図ることとする。

また、美術館については、広報宣伝活動を強化し、閑散期の入館者増をはかりコンスタントな運営を実現するとともに、財団とアサヒビールの文化活動戦略との連携を一層強化する。

総体的に経費削減に努め、事業部門での収入増を図り、収支バランスに努める。

主たる事業の計画

1. 芸術文化活動への助成

平成 24 年度に開催した選考委員会の答申に従い、総計 522 件の案件に対して、総額 26,000 千円の助成を実施する計画。その内訳は、以下の通り。

1) 美術・音楽・舞台芸術活動への助成

当該部門では、21 件の案件に対して、総額 14,500 千円の助成を実施する計画。

<主たる助成先>

芦屋市立美術博物館 「ゲンル」現代美術懇談会の軌跡展」
かがわ・山なみ芸術祭実行委員会 「かがわ・山なみ芸術祭」
仙台アンデバンダン展 2013 実行委員会
大阪音楽大学 20 世紀オペラ・シリーズ「ピーター・グライムス」
東京交響楽団 「川崎定期演奏会第 40 回」
広島交響楽団 「第 335 回定期演奏会」
吾妻橋ダンスクロッシング実行委員会 吾妻橋ダンスクロッシング 2013
アーキタンツ 「ダブルビル」 など

2) 芸術文化団体(NPO、文化機関、文化施設等)への助成

芸術文化の振興に大きく寄与している文化施設および文化機関を助成する。
当該部門は、9 件の案件に対して、総額 5,500 千円の助成を実施する計画。

<主たる助成先>

特定非営利活動法人 芸術家と子供たち
非営利特定活動法人 東京ジュニアオーケストラソサエティ
日本演劇教育連盟
など

3)国際交流事業助成

国際的な芸術家等の交流事業を中心に、幅広い交流事業を助成する。
当該部門は、8件の案件に対して、総額6,000千円の助成を実施する計画。

<主たる助成先>

Kyoto Experiment 京都国際舞台芸術祭 2013
アーカスプロジェクト実行委員会
フィジカル/トーキョー実行委員会 など

2.アサヒビール大山崎山荘美術館の運営

多目的ホール「夢の箱」の新設により、企画展の展示をより幅広い、充実したものとさせることはもとより、京阪神地区への広報宣伝活動をより一層強化して、認知度の向上をはかる。具体的には、京都市内のホテルとの連携や旅行業者との提携を推進していくことにしている。

本年度は、6月2日までの「フラワー・オブ・ライフ展」を皮切りに、「バーナード・リーチ展(仮題)」「秋冬季所蔵品展 前期・後期」と3回の企画展を計画しており、地域の美術館と連携しながら、所蔵品を中心として美術館の特徴を生かした展示を展開していく。

また、学芸員の研修、研究活動を強化し、所蔵作品や作家の知識を深め、企画展に反映させていくのはもとより、作品の適切な保管、保存に努め、タイムリーな修繕も実施する。

本年は通年営業となることから、広報も強化することにより、来館入場者数の目標は、90,000人とする。

施設の充実に見合う館員のホスピタリティのレベルアップに努め、地域と連携し地域に開かれた美術館として、美術館としての独自の地位を確立するとともに、あわせて、海外で評価される拠点作りを目指す。

3.アサヒビール社と連携した事業の運営

財団は、本年もアサヒビール社の推進するメセナ活動へ協賛し、次の2事業を連携し、実施する。

1)アサヒ・アートフェスティバル

全国各地のアートNPOとの連携によって推進しており、本年度で第12回目を迎える。

昨年度、10周年を迎えたことを機に、今までのAAFの活動の集大成として記念の本「地域を変えるソフトパワー」を出版したが、地域のアート関係者や地域振興に携わる方たち

に大好評となり、再販するほどの人気となっている。これまで形成してきたネットワークが機能したことから、当プロジェクトに対する期待が高まるとともに、今後の発展に大きな期待が寄せられている。

本年も 172 件の応募の中から選ばれた 54 件の企画が、6 月 15 日から全国で展開される。特に地域の創造拠点開発を中心に、プロジェクト間のネットワークの強化をはかることにしている。

国際的な注目も高いので、昨年度実施した国際交流もいっそう促進する。

当該プロジェクトの実施にあたっては、15,000 千円の助成を実施する。

2) すみだ川アートプロジェクト

2009 年度開始した「すみだがわアートプロジェクト」は、本年第 5 回目を迎える。本年は「江戸を遊ぶ - 鶴屋南北（仮題）」をテーマに、隅田川テラスで即興大演奏会やパレードなどを繰り広げ、地域資源の発掘、アート活用の効果を高める。

アサヒビール社で実施してきたロビーコンサート、アサヒアートスクエア等の活動とも連携し、プロジェクトとしての拡充を図り、より多くの人へ働きかけ、より大きな広がりを模索する。

昨年同様、市民の自発的な活動を強化するため、実行委員会を中心に、専門家と市民協働でプロジェクト運営を推進する。

当該プロジェクトの実施にあたっては、7,000 千円の助成を実施する。

主たる事業の日程

年	月	日	項目	摘要
25	4	1	大山崎山荘美術館 企画展	「フラワー・オブ・ライフ」(～6/2)
	6	上旬	定時評議員会 理事会	平成24年度事業報告書、決算報告書の承認
	6	上旬	平成25年度 助成金授与式	
	6	上旬	財団案内	平成25年度版の作成
	6	8	大山崎山荘美術館 企画展	「バーナード・リーチ展(仮題)」
	6	15	アサヒ・アートフェスティバル	全国54ヶ所の公募PJを中心に展開(～10/14)
	6	15	すみだ川アート・プロジェクト	『江戸を遊ぶ - 鶴屋南北(仮題)』(～7/31)
	9	2	大山崎山荘美術館メンテナンス工事	休館(～9/20)
	9	21	大山崎山荘美術館 企画展	「所蔵名品展 前期(仮題)」(～12/15)
12	1	19	大山崎山荘美術館 企画展	「所蔵名品展 後期(仮題)」(～2014・3/9)
26	1	中旬	芸術活動助成選考委員会	芸術活動助成案件の選考
	3	上旬	理事会	助成先を決定
	3	中旬	理事会、	平成26年度事業計画、収支予算の承認

以上